



探究的な学習研究推進通信

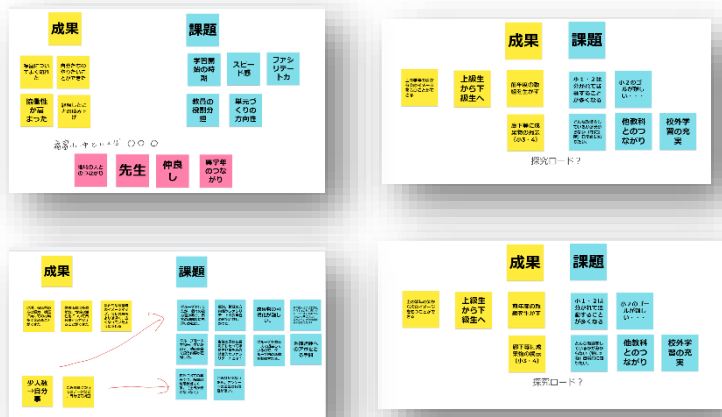
Fukutomi Inquiry Learning Team



令和5年
3月3日
(金)
No.19

第4回研究推進協議会

2月16日(木)に、西部教育事務所より横岡洋子指導主事、東広島市教育委員会より花岡拓也指導主事に来校していただき、今年度最後となる第4回研究推進協議会を行いました。今回は研究授業は行わずに、2月9日(木)に発表した、ポスターセッションを聞いていただき、そのあとで今年度の研究についての成果と課題について、グループで協議を行いました。Jamboardを活用して、積極的な協議が行われていました。協議内容を、花岡指導主事がまとめていただいたものを参考に、以下の表にまとめてみました。次年度にやるべきことが、浮かび上がってくるように感じます。



本校の主要な取組	今年度仕組んだこと	想定外、年度途中で変化したこと	これからどうする？
系統的なルーブリック	個に応じて見取るレベルの作成 内容のブラッシュアップ	ルーブリックが抽象的で活用しづらい 指導案に具体的な児童・生徒の姿を明示する	総合だけでなく、全教科での育成を目指す カリキュラムマネジメントの視点が必要
異学年集団での活動	上級生、下級生のそれぞれのよさを生かす活動 昨年度の取組をつなぐ活動	総合を越えて、日常生活でも児童・生徒同士のつながりが見えた	理解度の差をどう改善していくか 児童・生徒同士が他学年の活動を知る場が必要 探究ロード？
小中連携の工夫	教職員の意識共有 小中職員の交流	仲良し(さらに) 	小中教職員の身内間をもっと生かす工夫 児童・生徒の連携を計画する
地域における探究活動	福富を知る→実行 →発信→好きになる？	他地域と比較して、福富のよさを再確認 課題の難しさを知り、好きが微減少	制約を少なく、スピード感をもった活動に 地域の思いとのずれを無くすか、生かすか

今年度は「本物の探究」を目指して活動を行ってきました。次年度はいよいよ「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の最終年度、「探究の発信」の年です。発信をするために、最終年度に向けて何を続けて、何を变えていくべきか考えてみてください。(経済の視点で課題を考える、地域人材の活用方法のバリエーションを増やす、テーマの系統性を今一度整理するなど)全教職員で協働し、持続可能な単元づくりをみんなで進めていきましょう。だって仲良しですからね。

研究紀要完成！ご協力ありがとうございました。



昨年度よりまとめていただいていた研究紀要が完成しました。もうすぐお配りできると思います。お忙しい中、本当にありがとうございました。次年度に向け、もう一度内容を確認しておいてください。以下は成果と課題を簡単に紹介させていただきます。

- 成果**・資質・能力の設定と見取り
ルーブリックの見直し、資質・能力の端的な揭示による児童・生徒の意識の変化、資質・能力を意識した振り返りの記入、指導案への具体的な本時のルーブリックの記述など
- ・児童・生徒同士や地域との協働
Jamboard や思考ツール、ホワイトボードや模造紙などの活用、学校運営協議会と連携した地域人材・資源の活用、積極的な地域での活動など
- 課題**・カリキュラムマネジメント、他教科や学校行事とどのように関連付けていくか
- ・アンケートの取り方
アンケート結果の妥当性を高めるため、文面の工夫、数の確保が必要
- ・単元の終わりをどのように設定していくか



次年度に向けて～朝倉淳教授来校～

2月20日(月)に、安田女子大学 朝倉淳教授に来校していただきました。本校の探究的な学習について話を聞いていただき、校長先生とFITのメンバーがアドバイスなどをいただきました。「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の最終年度に向けて、これからご示唆をいただく予定です。

先進校視察報告

「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」の一環として、2月に先進校視察に行かせていただきました。

- ・2月3日(金)
香川大学教育学部附属高松小学校 公開研究会
訪問者 小学校研究主任 岡 真知子
- ・2月7日(火)
長崎県 松浦市立志佐中学校
訪問者 中学校研究主任 飯垣 和義

先進校の視察内容をおおまかにまとめた報告書を配付しますので、ぜひご覧ください。また、いただいた資料をまとめたファイルを「探究図書コーナー」に準備してあります。次年度の探究に向けて、学びを深めていきましょう！

先達の言葉

もし事実と理論が合っていないとしたら、捨てるのは理論のほうね。
アガサ・クリスティ(イギリス推理小説家)
いくら「素晴らしい」と思う授業を計画しても、教師側が教えたことと子どもが学んだことはイコールではありません。授業の成果は、その児童・生徒の姿から判断すべきですね。場合によっては、こちらが教えたこと以上のことを学ぶこともあります。想定外の資質・能力を見取る構えが必要です。